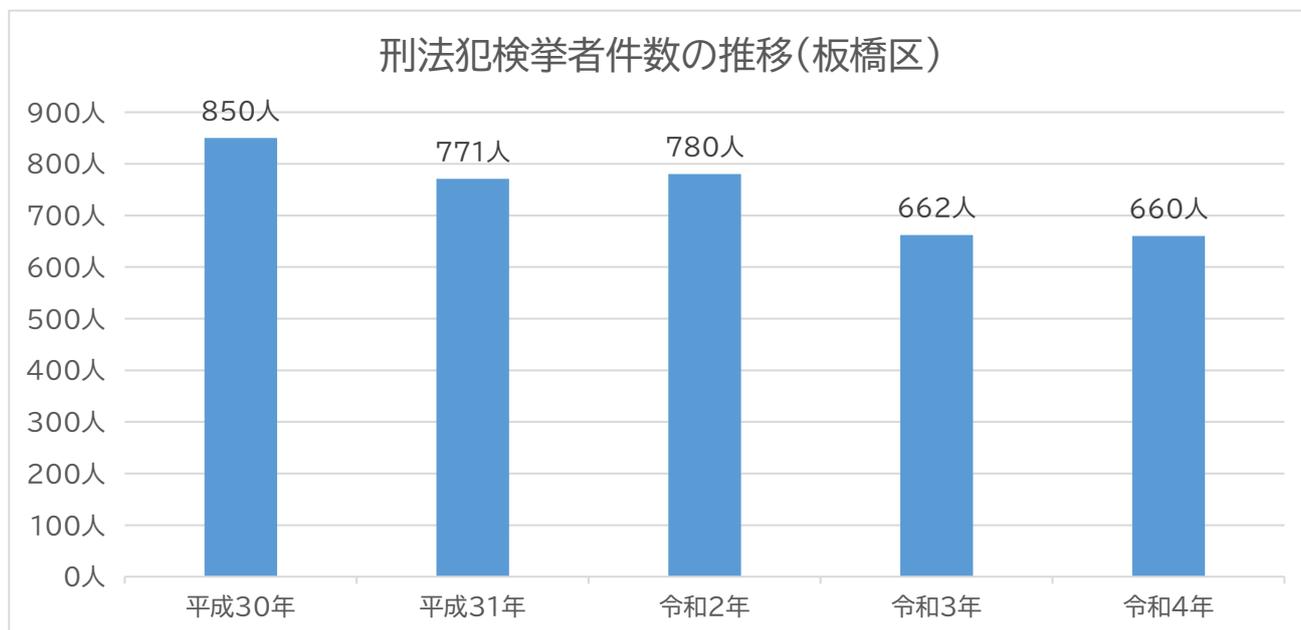


## 犯罪や再犯防止を取り巻く状況

### 1 刑法犯検挙者数

板橋区の刑法犯検挙者は減少傾向にあり、国や東京都における検挙者と同様の傾向を示している。過去5年で最大だった平成30年と比べ、2割強の減少となっている。

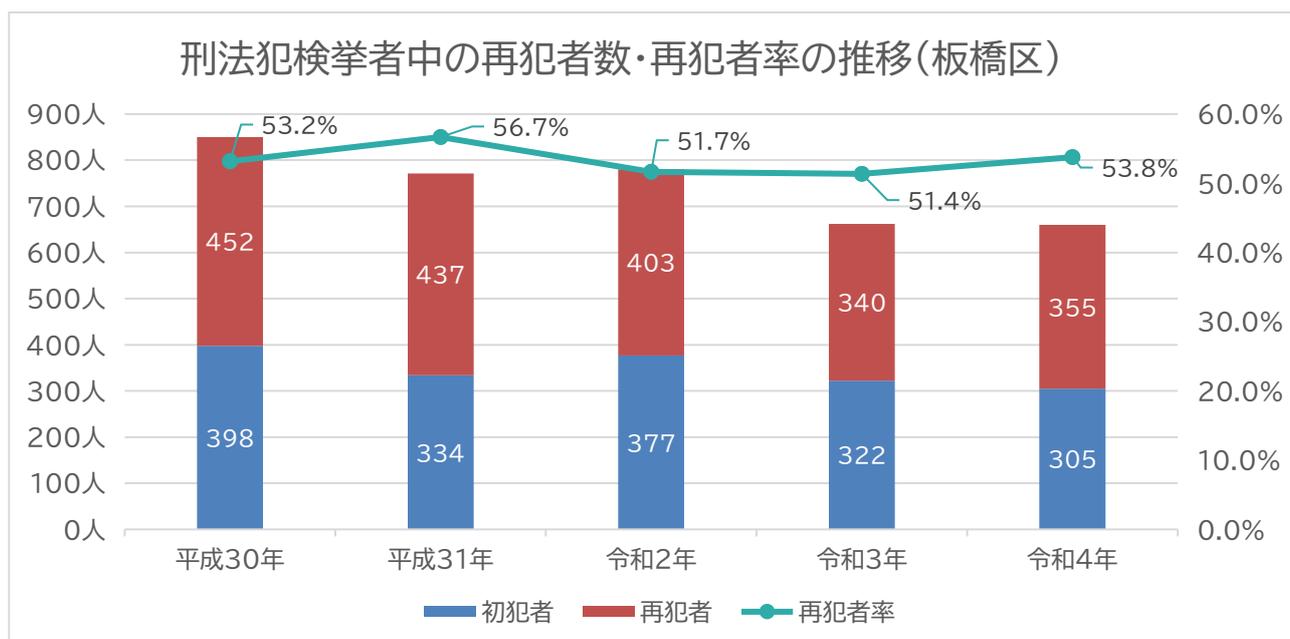


※矯正管区の統計による

※犯行時年齢が20歳以上の者を計上。

### 2 再犯者数及び再犯者率

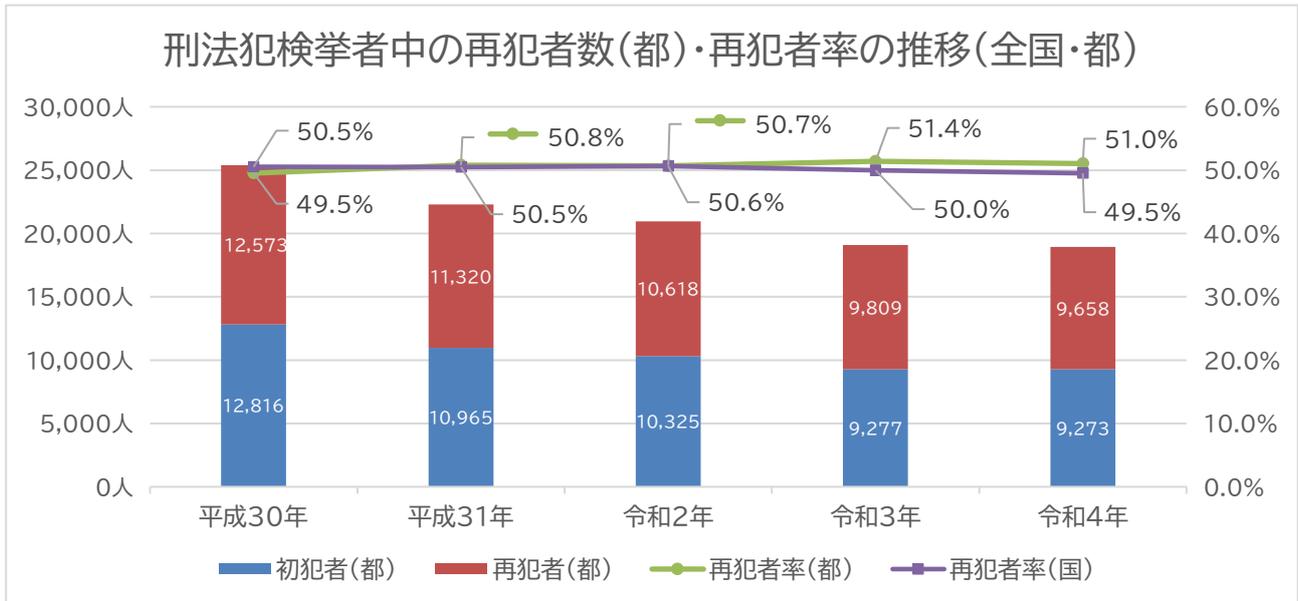
板橋区における刑法犯検挙者は減少傾向にあるものの、検挙者にしめる再犯者の割合は横ばいとなっており、国や東京都と比較しても高い割合を示している。



※矯正管区の統計による

※犯行時年齢が20歳以上の者を計上。

## 刑法犯検挙者中の再犯者数(都)・再犯者率の推移(全国・都)



※矯正管区の統計による

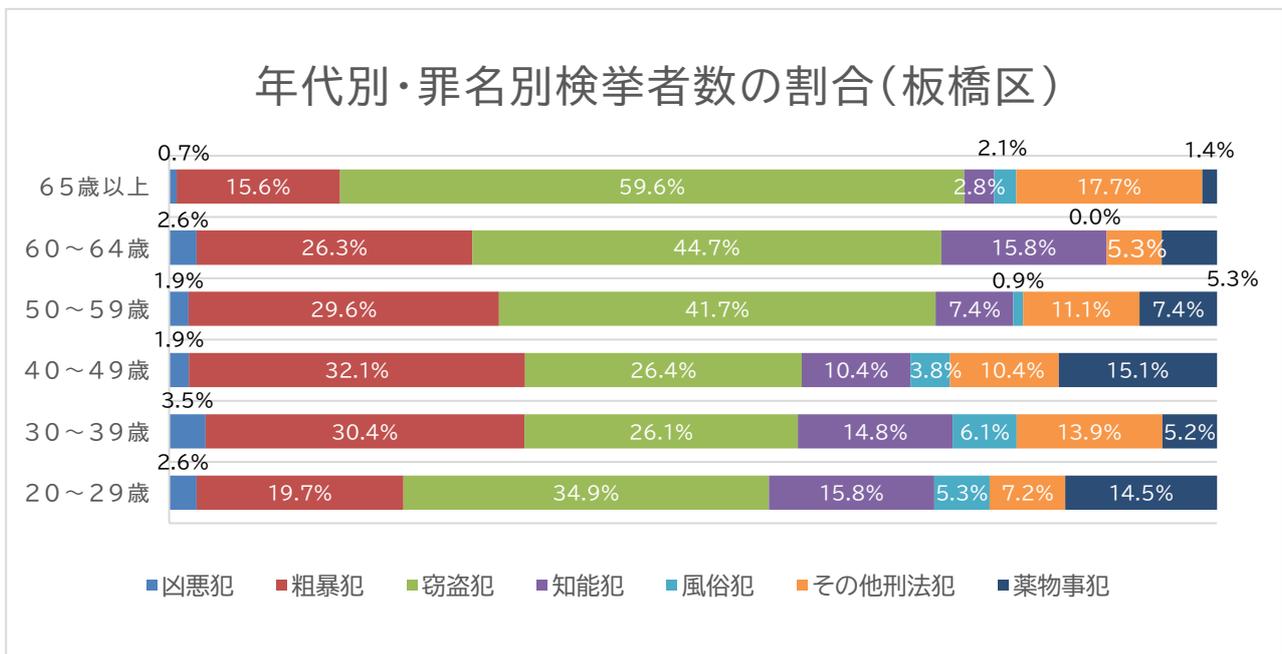
※犯行時年齢が20歳以上の者を計上。

### 3 年齢別・罪名別検挙者

年代別罪名別検挙者の割合については、50歳以上の窃盗犯の割合が高くなっており、特に高齢者においては約6割が窃盗犯による検挙となっている。

また、薬物事犯が占める割合については、40歳代が最大となっている。

## 年代別・罪名別検挙者数の割合(板橋区)

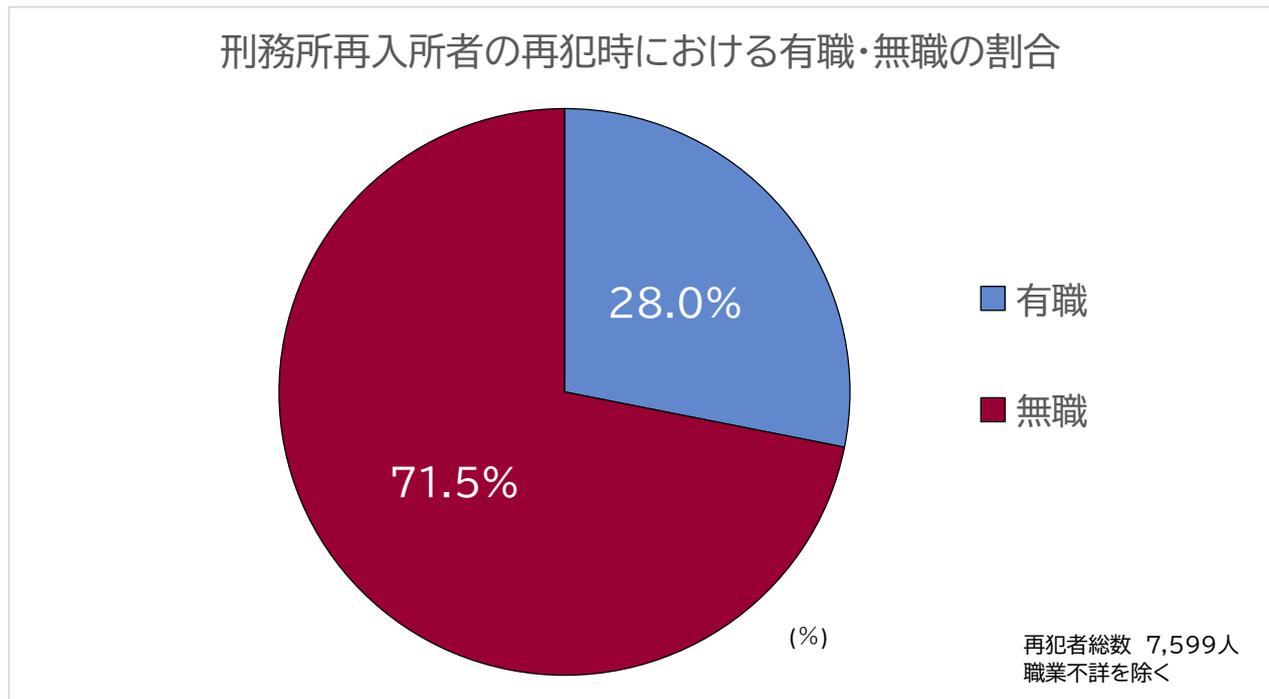


※矯正管区の統計による

※犯行時年齢が20歳以上の者を計上。

#### 4 再犯時の就職状況

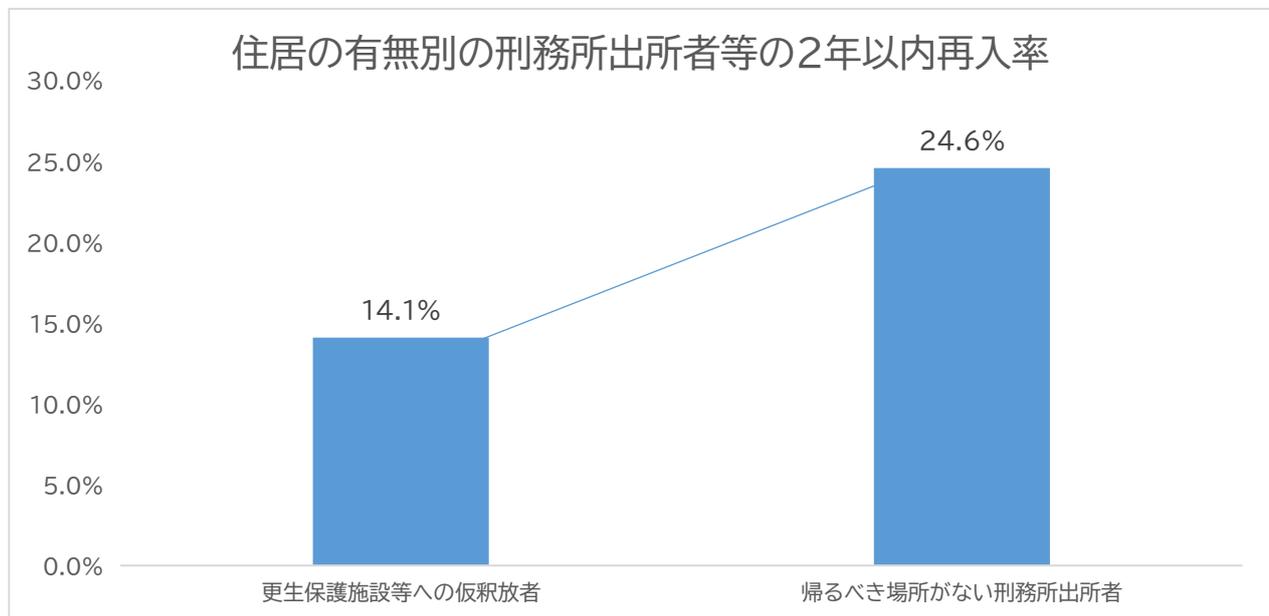
再犯時の就職状況は、約7割が無職であり、有職者の約3倍である。



出典: 令和5年矯正統計表

#### 5 住居の有無別2年以内再入率

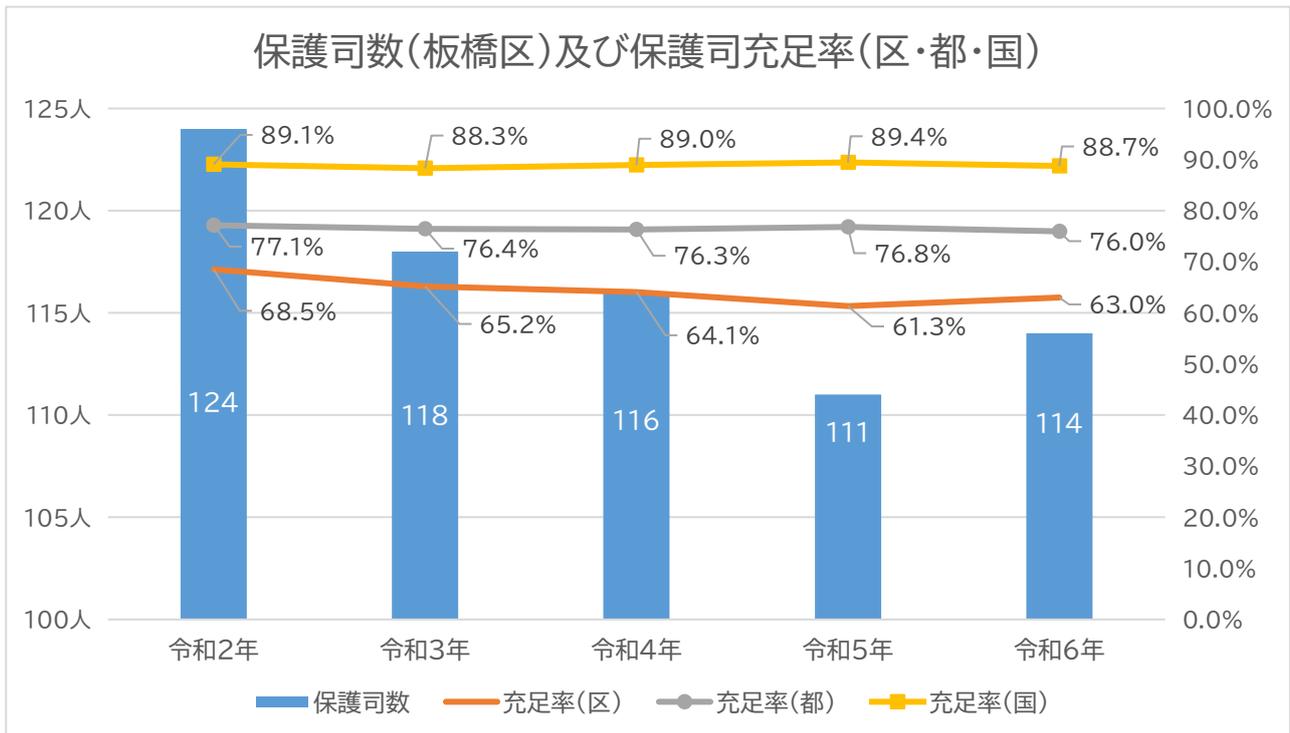
帰住先がない者の再入率は、帰住先がある者に比べて約2倍再入率が高くなっている。



出典: 法務省資料

## 6 保護司数と充足率

区内の保護司は減少傾向となっており、令和6年の充足率は63.0%となっており、国や東京都と比較しても低い水準となっている。

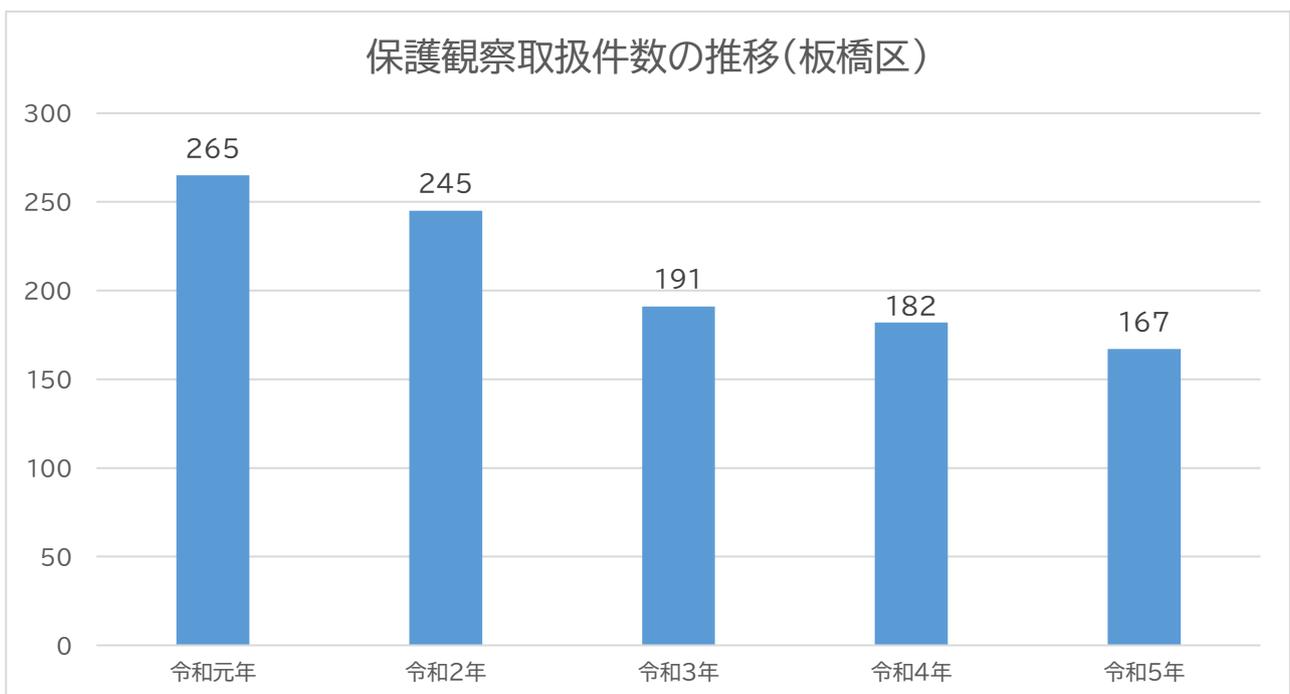


※東京保護観察所の資料による

※板橋区における保護司の定数は181人

## 7 保護観察取扱件数

区内における保護観察取扱件数は、刑法犯検挙者数と同様に減少傾向となっている。



※東京保護観察所の資料による